



コミュニケーションを重視し、  
企業情報を適時かつ公正に開示します。

## 2005年度注力ポイント

- 企業情報のより積極的かつ公正な開示
- IR活動を通じた  
ステークホルダーコミュニケーションの促進

## 2005年度の主な取り組み

- 機関投資家向け説明会、スモールミーティング、  
事業所見学等の充実
- 個人投資家向け、外国人投資家向けの説明会の拡充
- ニュースメールの配信強化

## 沖電気グループのIR活動

沖電気グループは、株主・投資家の皆様に企業概要、経営戦略、経営成績などの有用な情報を適時・適切に開示しています。そして、これらの情報を市場に正しくご理解いただくことを通じて企業価値の向上を果たすべく、IR活動を積極的に推進しています。活動にあたっては、市場の声を適切に事業活動にフィードバックすることが経営の効率化につながるという認識のもと、専任組織である広報部IR室を中心に、社長をはじめ経営陣による投資家説明会やIRミーティングなど各種のコミュニケーションを実施しています。

今後も会社法・金融商品取引法、東証開示規則などの改正への対応なども含め、さらに適切で迅速な情報開示に努めていきます。

### ● 投資家説明会・IRミーティングを実施

沖電気では、2003年度第1四半期から四半期決算発表を実施しており、決算発表と併せて開催している機関投資家向け説明会では、決算情報のほか、ビジョンや経営戦略を経営陣が語っています。また、決算発表とは別に、機関投資家向けIRミーティングを国内に加えて、海外においても積極的に実施。スモールミーティングでは、経営戦略や事業戦略、個別商品・技術など幅広いテーマについて説明しています。併せて事業所見学会なども実施し、国内、海外の機関投資家に沖電気グループを正しくご理解いただけるよう努めています。

2005年度は、個人投資家向けの経営説明会も実施し、経営陣が沖電気グループの主要な取り組みや戦略について具体的に説明しました。



投資家向け経営説明会(2006年2月)

### ● IRサイトやニュースメールで情報を発信

沖電気は情報開示の公平性を保つため、決算をはじめとするさまざまなIR情報を、自社Webサイト内のIRサイトに日本語・英語で即時掲載しています。また、サイト上から登録いただいた方々に決算情報や証券取引所へのファイリング情報、新商品・サービスなどのプレスリリース情報、IRサイト更新情報などを電子メールでお届けするニュースメールの充実も図っており、これまでに約2,000名の方に登録いただきました。個人投資家向けサイトにおいては、図やグラフ、動画や音声を活用したわかりやすい会社説明コンテンツを提供しています。

こうした工夫の結果、当社のIRサイトは、大和インベスター・リレーションズ株式会社による「インターネットIR優秀企業」に5年連続で選出されました。



Webサイト内「投資家の皆様へ」

## 社員の声



広報部IR室  
吉田 邦彦

IR室では証券アナリストや機関投資家との個別ミーティングを、国内外合わせ年間200回以上実施しています。ミーティングではさまざまな質問をいただきますが、いずれも情報開示の公平性の確保に細心の注意を払って対応しています。また、有用な情報を可能な限り速やかに開示することもIRの基本。今後も、迅速・適切な情報開示に努めます。

● **インサイダー取引防止を徹底**

沖電気グループは、株主・投資家への適時・適切な情報開示とともに、株主・投資家保護や証券市場の信頼性確保のため、インサイダー取引の防止に努めています。「インサイダー情報管理責任者」を設置して、インサイダー情報に該当するか否かの判断など、認定・解除のプロセスを管理しているほか、「インサイダー取引防止規程」の遵守をリスクマネジメントの一環としてグループ内に徹底しています。

● **SRI評価機関による評価**

企業への投資判断において、財務的な側面だけでなく社会・環境などCSRの取り組みを評価基準とするSRI(社会的責任投資)が注目されています。沖電気は2006年5月現在、以下のSRIインデックス(株価指数)の構成銘柄に選定されています。

	
<p>「FTSE4Good Global Index」(英国)</p>	<p>「MS-SRI(モーニングスター 社会的責任投資株価指数)」(日本)</p>

**多様なステークホルダーに応じた情報開示とコミュニケーション**

株主・投資家以外にも、さまざまなステークホルダーとのコミュニケーションを推進しています。

**適時・適切な情報発信を強化**

沖電気グループは、多くのステークホルダーの皆様に情報を適時・適切にお伝えするために、プレスリリースや記者会見・取材対応など、報道機関を通じた情報発信を強化しています。

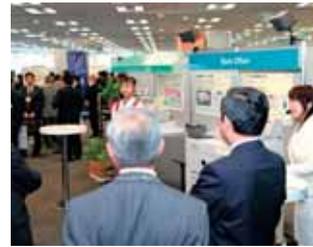
また、ステークホルダーの皆様と的確なコミュニケーションを図っていくために、さまざまな印刷媒体を発行するとともに、Webサイトを通じた情報公開の充実を図っています。



中国(大連)における新会社設立発表(2005年10月)

**「OKI情報通信融合ソリューションフェア2005」を開催**

沖電気グループでは、商品・サービスの紹介とお客様との直接のコミュニケーションを図るため、毎年「OKI情報通信融合ソリューションフェア」を開催しています。2005年度は10月19日・20日の2日間、「e社会の実現を加速するOKIのネットワークソリューション」をコンセプトに実施しました。最新ソリューションや先端技術製品などを展示したほか、各界のオピニオンリーダーによる講演や各種セミナーを実施し、約3,700名のお客様に沖電気グループのめざす「e社会」の姿をご紹介します。



「OKI情報通信融合ソリューションフェア2005」の様子

**お取引先への各種説明会を通じて情報交換を推進**

沖電気は各生産拠点において、主要なお取引先との円滑かつ緊密なコミュニケーションを図るために、情報交換を目的とした各種説明会(賀詞交歓会、事業方針説明会、生産計画説明会など)を実施しています。



本庄地区(埼玉県)における生産計画説明会の様子

**経営トップと社員のコミュニケーションを強化**

沖電気グループは、経営トップと社員の双方向コミュニケーションに力を入れています。半年ごとに社長が自ら主要拠点を回り、経営計画・施策を社員に直接説明しているほか、社長が各部門のさまざまな階層の社員と少人数単位で懇談する会合「ワークアウト」を毎月実施しています。

ワークアウトでは、経営方針に関する社員の理解度や職場での実行上の課題について社長が社員と率直に意見を交わし、討議内容は、イントラネットを通じて全社員に公開しています。

「インサイダー」の推進

お客様満足の上

株主・投資家への情報発信

社員の尊重

環境への対応

社会貢献